

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名 : アスピラーG
推奨用途 : 塗膜剥離剤
会社名 : クリアライト工業株式会社
住所 : 岐阜県関市山田1539-3
電話番号 : 0575-27-3051
FAX 番号 : 0575-27-3053
担当部署 : 技術部
緊急連絡先電話番号 : 0575-27-3051
製品番号 (SDS番号) : No. 96-12
作成年月日 : 2017年6月23日 改訂年月日 : 2018年7月23日

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分 4
急性毒性 (吸入 : 蒸気)	: 区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	: 区分 2A
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 2 (呼吸器系)

(注) 記載なきGHS分類区分 : 該当せず / 分類対象外 / 区分外 / 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報

- ・ 飲み込んだり吸入すると有害
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後は手、顔等をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

- ・飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している場合に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- ・口をすすぐこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

- ・内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt %)	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
アルコール系高沸点溶剤	40 - 50	非公開	非公開	—
植物由来脂肪酸エステル系溶剤	30 - 40	非公開	非公開	—
エステル系溶剤	10 - 20	非公開	非公開	—
増粘剤	5 - 10	非公開	非公開	—

4. 応急措置

飲み込んだ場合

- ・口をすすぐこと。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚（又は髪）に付着した場合

- ・多量の水と石けんで洗うこと。

- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

- ・棒状の水

特有の消火方法

- ・安全に対処できるなら着火源を除去すること。
- ・危険を避けられれば燃焼源の供給を止めること。
- ・霧状水により容器を冷却すること。
- ・安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること。
- ・消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避けること。

消火を行う者の保護

- ・呼吸用保護具／防火服／防災服／耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・適切な保護具を着用すること。
- ・着火源を取除くとともに換気を行うこと。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させること。
- ・安全に対処できる場合は漏えいを止めること。

環境に対する注意事項

- ・漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止すること。

封じ込め及び浄化の方法／機材

- ・不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収すること。
- ・多量に流出した場合、盛土で囲って後処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・指定数量以上の量を取り扱う場合には、火災予防条例準則、市町村条例で定められた基準に従うこと。
- ・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・適切な排気／換気設備を設けること。

安全取扱注意事項

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手、顔等をよく洗うこと。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

避けるべき保管条件

- ・直射日光の当たる場所や高温となる場所には保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 設定されていない。

ばく露防止

設備対策

- ・適切な換気のある場所で取扱うこと。
- ・手洗い／洗顔設備を設けること。

保護具

呼吸用保護具

- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- ・保護手袋を着用すること。

眼の保護具

- ・保護眼鏡／保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

- ・適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

- ・取扱い後は良く手を洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状	: 粘稠液体
色	: 黄褐色
臭い	: 溶剤臭
pH	: 適用外 (水分散液: 中性)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点	: データなし
引火点	: 101°C
自然発火温度	: データなし
比重	: 0.95-1.05 (20°C)
溶解度 (水に対する溶解度)	: 不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

- ・通常の保管条件/取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性

- ・特記すべき反応性はない。

危険有害な分解生成物 : CO、CO₂

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

経口毒性成分データ

ラットのLD₅₀ > 1808 mg/kg (計算値)に基づいて区分4とした。

吸入毒性成分データ

ラットのLC₅₀ > 15.5 mg/L (計算値)に基づいて区分4とした。

局所効果

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

繰り返しの接触は皮膚を刺激する。区分2 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性

ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) で中等度の刺激性 (SIDS, 2008)に基づいて区分2Aとした。

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：分類できない

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）

90日間のエアロゾル試験でくり返しばく露した結果、わずかに鼻に対する軽度の刺激を示した。区分 2 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

吸引性呼吸器有害性：分類できない

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性

データなし

水生環境慢性有害性

データなし

分解性／蓄積性

分解性：データなし 蓄積性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

・内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号、国連分類に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・直射日光、雨にばく露されないように運搬すること。
- ・運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質（Y類）：アルコール系溶剤、エステル系溶剤

1 5. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法：該当しない

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則：該当しない

有機溶剤中毒予防規則：該当しない

名称等を表示すべき危険物及び有害物：該当しない

名称等を通知すべき危険物及び有害物：該当しない

化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない

消防法：指定可燃物 可燃性固体類

16. その他の情報

参考文献

- Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
- Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
- Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECN06182012)
- 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
- JIS Z 7253 (2012年)
- JIS Z 7252 (2014年)
- 2016 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- Supplier's data/information

責任の限定について

- 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用してください。ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。